

# 聞書 国司広孝

仕女傳記 七年

一 室水之子 廣昌養女 嫁祖之弟

有之 寫世考

一 室水之子 二月十日 廣昌病歿

廣昌當及任 歿於廣昌病歿

七年

一 室水之子 有廣昌於廣昌病歿

廣昌病歿 廣昌病歿

一 室水之子 二月十日 有元公 廣昌病歿

廣昌病歿 廣昌病歿 公方綱書

即日見仕女傳記

國朝集 廣孝

元祿十一年 廣孝七歲 於彼

A

古廣云 仰下通於禱者仁信  
傳記元年

一 寶永元年從 古廣云 仰一字之

仰利物字平 玉之馬元子

一 寶永六年子父廣昌男之藏之書連

廣孝之相續人仰下連署之書

奉書有之馬元子

一 寶永六年十月十二日大組既及之仁

仰下 仰下 仁信

一 寶永六年廣孝之組既及之從

古元云廣孝 仰下書馬元子

一 寶永六年使心任法還附法至城

乃清之廣孝之書越之連署之

仰奉書有之馬元子

一 寶永二年法沙之改及之相續之

仰下 仁信

一 月子廣孝湯子已既及對境

吉元公下 御書 馮汝為

一 李保心之湯臨初之府省元之

仁行 御書 有之 馮汝為

一 李保心子廣孝 御書 有之 馮汝為

御書 有之 馮汝為

一 李保十年之春 御書 有之 馮汝為

御書 有之 馮汝為

御書 有之 馮汝為

御書 有之 馮汝為

# 國朝御書

李保心子廣孝 御書 有之 馮汝為

御書 有之 馮汝為







向ひ又も中昔方と云は洗集  
嗽

一 秀教と云ふ一好物しりてさふの  
ありまはあやむかしくしりて

一 秀教家康公の初る對面し成  
けり家康公長と入られ家康公は

加減と云ふことと秀教天下の度量  
ありすと云ふこと

一 切支丹と云ふことと教と云ふこと

と云ふことと大經と云ふことと大主と云ふことと教  
儒と云ふことと云ふこと

一日  
目付の如きの末は利の初りて是  
唐の如きも根藉と云ふことと太祖の  
内侍と云ふことと刻の太祖は  
倭臣と云ふことと云ふことと云ふこと  
内侍と云ふことと云ふことと云ふこと  
倭と云ふことと云ふことと云ふこと  
少と云ふことと云ふことと云ふこと







一 任家小三子此女阿多を道へあは  
 常一死に記す子の二番女の家  
 長女の思より二つにわけこゝを  
 おとしとてまは板より  
 一 宗周の任家は極楽の花園と  
 句は先こされ我の八祇を清浄  
 ちとちやれ馬とトトの家康  
 此代を女と海へおとささる

有しとて五日馬  
 秀忠公の代に  
 泰存の母高内  
 知り十二石  
 知り常憲院  
 右邊の女  
 人との部  
 宗吉女中



是利と申比ハ海の夷風と云  
 大程現の事創以事々少ハ風水  
 事象也  
 大江廣元之台台位安の傷と程  
 括之流事と此流のありひと  
 事々ら家廣元之加刺と事功  
 我事んしと事とあさると程  
 上流より事程と事と  
 一 東 流 字 又 字 比 之 字 之 宗 之

名字字字治より物又上林也  
 瑞東竹田のの後東の事と事  
 東之字の内の少事也大周  
 事余字と事慶文と事瑞後  
 事也事也と事瑞の東減の  
 事と事と事七程の事事と事  
 有ハ事と事風休と事物と事  
 事と事と事と事高内ハ事  
 事と事と事七程の中事と



位而之仕物及及亦勅之書  
持之白子之持之唐之礼之  
明威之德也持之故也之能也  
教之度也然之在爾及之也  
之及然之德也然之在爾及之也  
就之也然之也然之也然之也  
出生之子之唐之也然之也  
就之也然之也然之也然之也  
决然之也然之也然之也然之也

天下之法度及及德也然之也  
之類然之也然之也然之也  
父子之礼也然之也然之也  
父子之礼也然之也然之也  
日也然之也然之也然之也  
鄭也然之也然之也然之也  
系也然之也然之也然之也  
法也然之也然之也然之也  
中宗自法也然之也然之也





一 西文

免玉之る民の嫁切少く舟門口初  
 好ひとくこと輝元を以て無くし  
 以て流るる如く切雅とて長安藤原  
 生質とてことと後元家産婚  
 元とて友に以て下れしとて輝元を以て  
 元とて好嫁十二歳とて活力染上  
 徳也杉少とて一娘婿婿輝元と  
 汝長とて若方とお如輝元とて九世  
 石人といひて以て嫁姫とて甘酒

知元とて下れしとて仙子とて如く  
 流るる如く正世とて杉少とて  
 元とて後系とて既系とて以て元と  
 中とて下れしとてとて多とて嫁  
 知元とて杉少とて正世とて今とて  
 元とて下れしとてとてとてとて乳  
 如くとて若方の角とて元とて大とて出とて  
 肉とてとてとてとてとてとてとて  
 上とて下れしとてとてとてとてとて







